

2024年2月1日

中東関係者各位

九門康之

「中東なう」2月

中東情報短信の「中東なう」です。

ガザ戦争から派生して、衝突は南は紅海からイエメン、北はイスラエル・レバノン国境に拡大しています。今月は、中東各国の様子をピックアップしました。

1. エジプト

- 観光インフラ運営にアラブ首長国連邦のアブダビポートが参入。エジプト政府は、紅海のリゾート地ハルガタとシャルム・エル・シェイクの港湾運営を委託。
- エル・シシ大統領がコプト教（エジプトの地場キリスト教、暦は東方キリスト教とほぼ同じ）のクリスマス・ミサに参加。エル・シシ大統領は国内安定を目的とし、キリスト教徒と連携している。
- 国際通貨基金と追加支援で協議継続。ガザ衝突以降、避難民の流入可能性や、紅海航路回避の動き、物価高騰の継続など経済へ悪影響が懸念されている。
- 国内銀行が高金利貯蓄商品を発売。インフレ防衛需要を狙ったもの。同国のイスラーム銀行であるナセル・ソーシャル銀行は年率20%の預金取り扱いを開始。

2. サウジアラビア

- 2024年の資金調達を開始。120億ドルのグローバル国債を発行した。財務省は2024年の資金計画を公表し、資金調達の透明性向上に努めている。
- 不動産の「計画売り」を認める。不動産開発を計画段階で分譲販売することなどを認めた。国内経済活性化の一環。計画段階での売買のため、計画完了リスクが発生する。
- アラビア語のオペラを作成。サウジアラビア政府は文化事業に力を入れている。国内外のアーティストによる公演を計画している。
- カタールとメディア分野で協力。カタールの「アル・ジャジーラ」放送局の報道内容は偏っていると批判していたが、双方が歩み寄っている模様。

3. アラブ首長国連邦（UAE）

- 宇宙飛行士 Sultan AlNeyadi を青年担当大臣に任命。宇宙を新しい分野として位置付けているが、次世代を担う若年層を狙った施策。
- インドと投資協力協定を締結。UAEにはインド人ビジネスマンが多い。しかし、国同士の経済関係は進んでいなかった。

●就職先 TOP は不動産関係。不動産ビジネスの人気が高い。同国の不動産は居住用の他、投資物件として購入し賃貸するケースが多い。

●アブダビは世界で最も安全な都市。ドバイは観光客が最も行きたい都市。安定した治安は同国の強みである。

4. イラク

●米軍が対「イスラーム国」掃討作戦終了へ。米軍はイラクからの撤退を静かに進めている。米軍はシリアでも対「イスラーム国」対策として部隊を展開しており、今後地域のカバランズが変化する可能性がある。

5. その他のニュース

●パレスチナ、サラム・ファイイド氏がガザ統治者の候補に●サウジアラビア、パレスチナ人の強制移住に反対（エジプトと同じ意見）●イラク、POS システム（販売動向を把握するシステム）で経済改革●トルコ、シリア・イラクのクルド族を攻撃●パレスチナ国家樹立とサウジアラビア・イスラエル国交を関連付ける報道複数（イランは国営メディアが「シオニストとの国交を正常化させるものは誰であれ重い負担を負う」とけん制）●ドバイ、交通渋滞が深刻化●

ご参考：情報収集手法

本レポートは、主に中東各国の電子メディアを継続してモニターして得た情報を材料にしています。マクロ経済・金融統計数値の出所は、IMF、地場中央銀行統計等です。コメントは筆者の個人的見解です。

以 上